



揖斐郡の課題



5月23日(火)、地域の皆様からいただいた池田町における要望箇所を関係機関の方々と共に現場を確認させていただきました。

- ① 杭瀬川堆積土砂撤去について(池田町片山地内)
昨年度の木伐採に続き、今年度中の堆積土砂撤去の要望をさせていただきました。
- ② 小和谷(池田町願成寺地内)
梅雨時期前に砂防河川の堆積土砂状況を確認いただき、堆積土砂撤去工事をすでに完了させていただきました。
- ③ 志名ヶ谷(池田町小寺地内)
豪雨により砂防河川から土砂が排水路に流れ込み道路が流出した現場の確認と改善にむけて要望。
- ④ 県道宮地片山線(池田町小寺地内)
県道宮地片山線において歩道が未完成部分について事業化にむけて要望。
- ⑤ 一般県道 池田神戸線 上田～杉野地内 事業区間 L=0.85km
この事業箇所には特別高圧送電線(通称:スーパー電柱)が設置されており、電柱補償を協議しつつ残工事を進めなければなりません。事業の再スタートにむけて強く要望させていただきました。平成29年度9月補正予算での事業費確保にむけて頑張ります。



大野町においては、現在整備が進んでいる北部工業団地との接続道路となる**県道中之元古川線(野・寺内地)**での事業ならびに**岐阜大野線(稲富地内)**の事業を促進させる要望させていただきました。道の駅「パレットピアおおの」の接続道路でもある(都)大垣神戸大野線や(都)大野揖斐川線の整備促進を要望。



揖斐川町においては、台風3号の影響により**町道下山線(揖斐川町東津汲地内)**において落石崩土の災害が発生。今後の対策について県にも要望をさせていただきました。揖斐川町におきましては、今議会における西濃議員団要望として**香六・川合バイパス・黒田橋・新小津トンネル(仮称)・小野坂トンネル**をはじめとする大規模な事業から、**根尾谷汲大野線の拡幅等**、多くの事業を前に進めなければなりません。町・県・国と共に優先順位を検討しながら土木・農林事業の推進を図ってまいります。



GIFU KENSEI NEWS



岐阜県議会議員
国枝慎太郎
2017.7 Vol.13
県政報告
通信



岐阜県議会議員

国枝慎太郎

平成29年6月

第3回岐阜県議会定例会にて一般質問に登壇

県教育委員会の体質を問う!

① 県立高等学校の通学区域の全県一区制及び
県立岐阜高等学校への単位制導入について。

② 揖斐郡の課題。

議会活動

農林委員会「副委員長」を拝命

常任委員会 / 農林委員会：副委員長

特別委員会 / 次世代を担う産業育成対策特別委員会(新設)



GIFU KENSEI NEWS
岐阜県政ニュース

発行者/国枝慎太郎政策研究会 揖斐郡大野町大字加納 757 番地 3

国枝慎太郎事務所

揖斐郡大野町下磯 521-2 杉原ビル 2F
TEL.0585-32-1003 FAX.0585-52-9307

ホームページ <http://shintaro-k.com/> E-mail shintaro.k1229@gmail.com

6月議会において一般質問に登壇させていただきました。今回の一般質問においては、県教育委員会に対し、来春から県立高等学校普通科校において「学区制を廃止」し、「全県一区制」へ移行する方針であることや、同じく来春から県立岐阜高校において「単位制」を導入する方針である事に関して、質問させていただきました。

私は「全県一区制」や「単位制」について賛否を唱えるつもりではありません。今までの学区制度の変更や毎年の学科改編については、年度末に公表され、来春の高校受験に向けて、受験生・保護者・中学校に十分な説明が出来ていたにも関わらず、来春の高校受験までに9ヶ月を切ったこの時期に、あえて来春から導入する必要があるのか?といったことを含め、県教育委員会に対し6点について質問させていただきました。

今回の質問については、テレビや多くの新聞各社に取りあげていただき、反響の大きさに正直、私も大変驚きました。今回の議会報告につきましては、私の一般質問の内容、答弁内容を中心に報告させていただきます。

県立高校を取り巻く背景

平成 元年	県内中学3年生徒数	36,330人	をピークに減少傾向が続く。
平成 15年	県内中学3年生徒数	23,366人	生徒数の大幅減少に伴い公立高校が74⇒63校(11校減らす)
平成 19年	県内中学3年生徒数	20,877人	
平成 26年	県内中学3年生徒数	20,795人	3月 第2次岐阜県教育ビジョンを策定 ※重点政策の一つとして「中長期的な将来を見据えた高等学校の改革」が位置づけられる。生徒減少期に向けた活力と魅力ある高校づくりのための活性化を審議するため
			4月 外部有識者による「岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会」を設置

少子化に歯止めがかからない中、県立高等学校の定員や維持に大きな影響を与える中学3年人口も今後、さらに加速度的に減少をしていきます。私達が住む揖斐郡においては岐阜県立揖斐高校・池田高校と普通科校2校が立地しております。

先ほど申し上げたように、来春から県立高校において全県一区制度への移行が決まりそうです。より一層のスピード感を持った各校の魅力づくりが求められますし、この先の高校存続に大きな影響を与えると私は考えております。揖斐郡にとっても、養老鉄道の存続や地域の活力・産業の担い手確保と言う課題に直結する一方、ピンチをチャンスに変えるべく取り組める課題でもあり、多くの生徒を今後、全県下や全国から揖斐郡に呼び込む可能性もあるわけです。今後立地自治体と共に魅力づくりに力を入れていく所存です。

岐阜県議会議員 国枝 慎太郎



県立高校の学区制廃止について 問い直す!



質問1 全県一区制及び岐阜高校への単位制導入方針の公表プロセスについて

松川教育長 答弁1

全県一区制に関する報道が、議論が十分に尽くされていない段階で唐突になされたことは遺憾に感じていると述べられ、情報管理の甘さに対する反省の言葉、また、高校入試は県民の皆様にとって大きな関心事であるにもかかわらず、学区制度の現状や課題、改革の方向性について県議会に対して事前説明が不十分であったことに対する謝罪の言葉がありました。

加えて6月27日の教育委員会会議では、さらに議会での意見等をよくお聞きした上で検討する必要があるとの考えで一致したとの報告がありました。

質問2 教育委員会と活性化協議会との関係について

松川教育長 答弁2

県教育委員会としては、全県一区を導入することは、各高校の特色に魅力を感じ、生徒が全県から集まる可能性が高まるなど、活性化協議会を設置している高校(揖斐・池田高校含む)にとっても良い影響を与えるものと考えているとの見解が述べられました。

活性化協議会 将来学級数が1学年3クラス以下、4クラス以下が見込まれる高等学校16校について私たち県議を含めた活性化策を検討・実施・検証するための場(揖斐・池田高校も協議会設置対象校)

質問3 岐阜高校への単位制導入方針の議論の経緯及びその他の高校への導入について

松川教育長 答弁3

県立高校活性化計画策定委員会の審議まとめにおいて、岐阜高校へ単位制を導入するよう提言され、平成29年3月に県教育委員会が示した検討まとめにおいても、活性化策の一つとして県立高校の進学指導を強化することを打ち出されました。また本年5月の総合教育会議でも、進学校における実績が上がらないことを踏まえ、進学指導の強化が話題となりました。こうした検討経過を経て、単位制については、来年度、岐阜高校及び多治見高校へ導入することを検討しているとの答弁がありました。

質問4 全県一区制導入方針の議論について

松川教育長 答弁4

現行の入試制度は、専門学科・総合学科等はすでに全県一区であり、学年制普通科においても、隣接学区からの出願が可能となっており、通学可能な高校はほぼ全て選択できる制度となっています。しかし例えば、東濃学区・飛騨学区からは、岐阜学区・西濃学区の学校へ出願できないなどの制約が残っており、最近では各地域の普通科高校が、スーパーサイエンスハイスクールやスーパーグローバルハイスクールに指定され特色ある教育活動を展開しているの、こうした特色ある高校を居住する地域によって選択できない場合があるという不合理は解消すべきとの考え方が示されました。

質問5 全県一区制導入及び岐阜高校への単位制導入を来春からとする必要性について、またその時期を1年遅らせてはどうか。

松川教育長 答弁5

中学校卒業予定者は、来年度からの3年間で約1700人の減少が見込まれ、どの高校も活性化に向けた具体策の実施が先送りできない状況です。また専門科だけでなく、学年制普通科の各高校も特色づくりを推進する中、市立でも町立でもない県立高校に対して、県内の一部の居住地の子どもたちには受験のチャンスすら与えられないというという不合理をそのまま残しておくことは適切でないという考え方が示され、全県一区制及び単位制について、来春からの導入が望ましいとの答弁がありました。

質問6 6月27日開催の教育委員会の議論の内容及び結果について

松川教育長 答弁6

制度改正については、今議会での議論を踏まえた検討が必要であるとの考えが示されました。また、7月11日に教育委員会会議で再度、議論を予定しており、できるだけ早く結論を出す必要性は感じているものの、現場の理解を求めつつ、十分に議論を尽くす必要があるため、場合によっては7月21日の教育委員会会議でも、さらに検討・議論を重ね判断をしたいという考え方も示されました。

県内の中学校卒業予定者数の推移



高1から小1はH27.5.1現在の在籍者数(学校基本調査)
5歳~0歳は年齢別推計人口(人口動態統計調査 [平成27.4.1現在])